

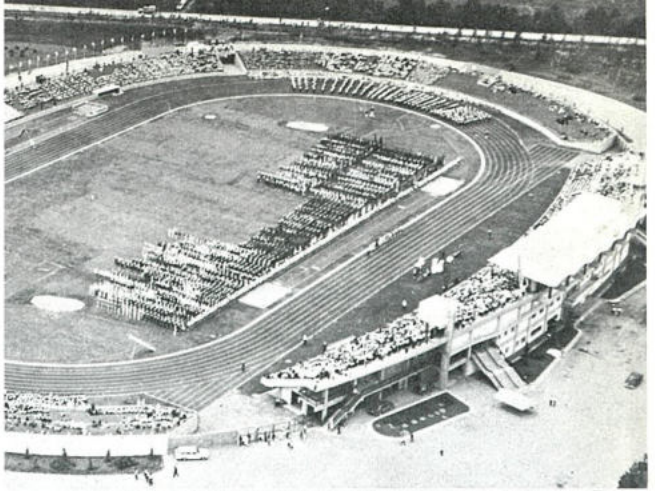


国体がましまるまで

建設中の県営体育館(盛岡)。42年国体の誘致に敗れた最大の理由は、競技施設が不十分であったこと。運動を45年誘致にきりかえ、会場づくりが急ピッチですすむ。



昭和38年から本格的に始まった誘致運動。42年岩手国体をめざして街頭署名(左)、街頭募金、PR塔の設置(右)などが積極的に行なわれました。



主会場となる県営運動公園陸上競技場(盛岡)偉容をみせる



41年9月6日、国体準備委員会を結成。



国体内定は41年7月18日夜8時もたらされました。喜びにわく事務局員。



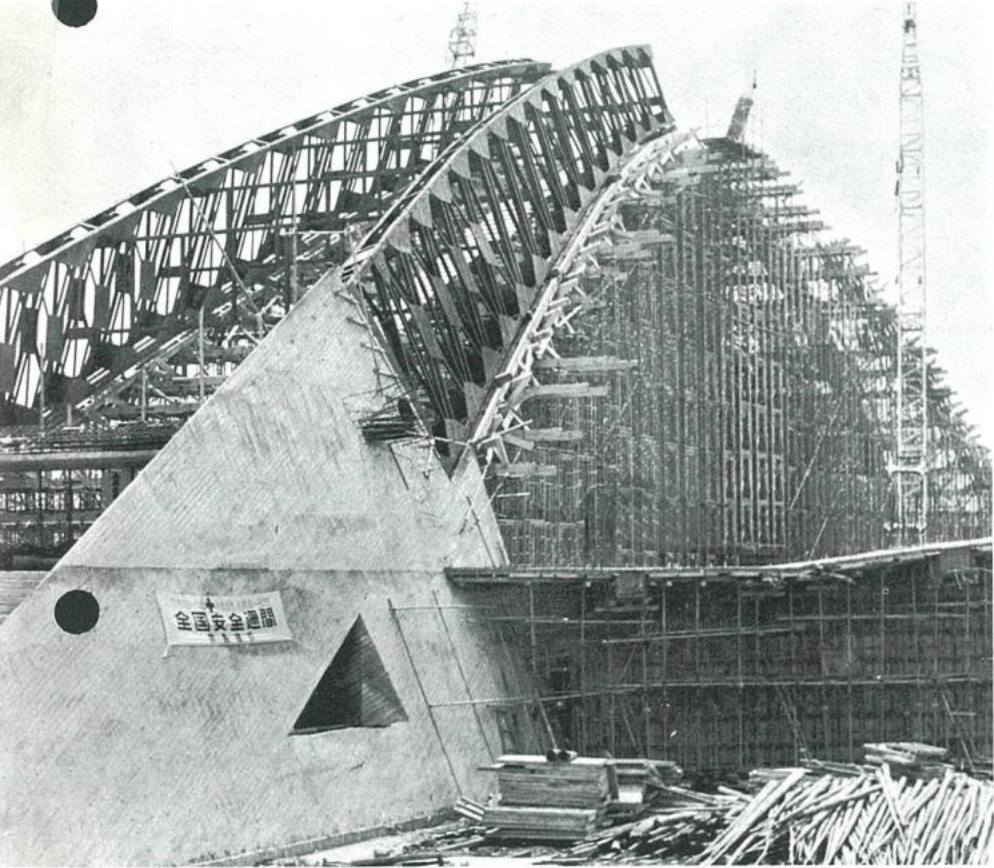
国体のリハーサル兼ねインターハイ、県体などを開催。



国体決定祝賀パレード。7月4日盛岡市内で盛大に行なわれました。



岩手国体、正式に決定 国体委総会で45年岩手国体開催決定にあいさつする中村副知事(右)と谷村県体協会長一岸記念体育会館。



選手づくりの殿堂トレーニングセンターが完成(盛岡)。

県民の熱意を示す 入選ポスター

